

## デフレからの脱出と日本経済の再生

### 2001～2002年度・経済情勢報告

---

#### 「2001～2002年度・経済情勢報告」

経済情勢報告は、連合総研が、毎年1回、勤労者報告を取り巻く経済情勢をとりまとめて発表するもので、今回で14回目となった。本報告書は、当研究所の経済社会研究委員会の議論を踏まえ、当研究所の責任において取りまとめたものである。

---

第I部では、最近1年間の内外経済情勢の分析を行った。日本経済は、2000年末頃から景気後退局面に入り、現在、デフレの中で失業率が5%を超える厳しい状態にある。この原因は、アメリカ経済の減速と、その需要に依存した[ITバブル]の崩壊、そして不良債権問題等の構造的な問題にある。このような問題の解決と深刻な不況からの脱出について検討している。止まらないデフレ経済と混迷する不良債権処理、長期に及ぶ厳しい雇用環境と失業情勢、更には、世界経済に決定的な影響を及ぼすアメリカ経済の不透明感などについて、景気の現状に検討を加えつつ、深刻な状況からの脱却について検討している。

第II部では、雇用・失業情勢の歴史的な深刻さを踏まえて、わが国の労働環境の厳しい現状を分析し、望まれる雇用対策を提示した。

第III部では、安心と活力を持った未来を築くために取り組むべき諸課題につき検討した。また「安心」の基本となる社会保障制度をどのように解決すべきか検討した。

第IV部では、厳しい経済環境における労働組合のあり方を探り、「雇用戦略」を提示した。

---

#### 目次

##### 第I部 長期低迷から抜け出せない日本経済

- 第1章 いっそう厳しさを増す景気
- 第2章 脆弱性を露呈した景気後退
- 第3章 デフレをもたらしているもの
- 第4章 不良債権問題は長期低迷の主因なのか
- 第5章 アメリカ経済はなぜ減速したのか
- 第6章 必要なマクロ経済政策

##### 第II部 厳しさを増す雇用・失業情勢

##### 第III部 安心と活力を持った未来に向けて

- 第1章 将来の日本経済を切り拓く新たなフロンティア
- 第2章 安心できる社会保障制度に向けて

##### 第IV部 「困難な時代」と労働組合運動の課題

- 第1章 労働組合の「雇用戦略」
- 第2章 閉塞状況下の日本経済社会とその脱出口をいかに切り開くか